

花ちゃん・オー君・モンタ博士・フタ博士のかくかくドット描いてくさ

国立市立国立第七小学校

平成30年1月15日 NO.87(487)



インスタントプラネタリウムの作り方

オー君 「あれあれ？4年2組の教室と同じことやってるよ。何やってるのかな。」

花ちゃん 「なんででしょうね。黒い紙とプリントがありますね。」

オー君 「プリントには、何か絵がかいてあるよ。文字も書いてあるよ。」

花ちゃん 「なんででしょうね。あ！オリオン座とか書いてあるわ。」

オー君 「冬の大きな三角形とも書いてあるよ。」

花ちゃん 「わかった。冬の星や星座について書いてあるんだ。」

オー君 「でも、何をやっているのかな。モンタ博士に聞いてみよう。」

花ちゃん 「モンタ博士、子供たちと何をやっているのですか。」

モンタ博士 「いまね、星のお勉強をしているんだよ。」

オー君 「星のお勉強？どういうことですか。」

モンタ博士 「よく聞いてくれたね。星のことが書いてあるプリントと黒い画用紙で、

『インスタントプラネタリウム』を作っているんだよ。」

花ちゃん 「『インスタントプラネタリウム』・・・？^{なん}何ですかそれは？」

モンタ博士「よく^き聞いてくれたね。これはね、モンタ博士が^{はかせ}^{かんが}考えたものなんだ。^{ほん}^か本に書いてあるとかではなくて、モンタ博士が一生懸命に^{はかせ}^{いっしょうけんめい}^{かんが}考えたオリジナルの^{ほし}星のお勉強^{べんきょう}アイテムなんだよ。」

オー君 「どんなものなんですか。」

モンタ博士「これはね、^{ひるま}^{つか}昼間でも使えるものなんだ。^{ほし}^{なら}^{かた}^{ひか}^{かた}星の並び方や光り方などがわかるようになって^{すぐ}^{けっさく}^{しまん}いるんだ。優れた傑作だと自慢なのですが・・・。」

花ちゃん 「どうやって作るのですか。どうやって使うのですか。」

モンタ博士「まず、^{がようし}^{うえ}画用紙の上にプリントを置き、はじっこをテープで止めるんだ。そして、^{ほし}星のところに、^{くぎ}^{はり}がびょう、釘、針などで穴を開けるんだ。^{おお}^{ほし}^{おお}大きな星は大きな^{あな}^{ちゅう}^{ほし}^{ちゅう}穴を、中くらいの星には中くらいの穴を、小さな星には小さな穴を開けて、できあがり。」

オー君 「それからどのように使うのですか。」

モンタ博士「プリントをずらして、^{がようし}^{あか}^{ほう}^む画用紙を明るい方に向けてごらん。^{あな}^{あか}^{ひかり}穴から明るい光が見えるだろう。それが^{ほし}星ということさ。オリオン座の^ざ^{かたち}形とか、他の星の^{ほか}^{ほし}^{いち}位置とかわかるんだ。^{なまえ}^み名前はプリントを見ればいいのさ。」

花ちゃん 「わたしも作ってみたいです。使ってみみたいです。」

モンタ博士「そのために下にその^{した}^え^{ようい}絵を用意したよ。^{おお}^{かくだい}大きく拡大コピーするといいよ。」

オー君 「よーし！作ってみるぞ。そして、いろいろと^{ほし}^{べんきょう}星を勉強するぞ。」

花ちゃん 「これから^{ほし}^{そらん}^{さつ}星天観測が楽しくなりますね。^{ほし}^み星を見るのは、『今でしょ！』ですね。」

